

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3250127号
(U3250127)

(45)発行日 令和7年2月10日(2025.2.10)

(24)登録日 令和7年1月31日(2025.1.31)

(51)国際特許分類

F I

A 4 1 D 27/20 (2006.01)

A 4 1 D 1/06 (2006.01)

A 4 1 D 27/20

A 4 1 D 1/06

A 4 1 D 27/20

E

N

H

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全8頁)

(21)出願番号	実願2024-4102(U2024-4102)	(73)実用新案権者	518193593
(22)出願日	令和6年12月10日(2024.12.10)		株式会社A l y o
			東京都世田谷区玉川三丁目20番2号
			マノア玉川第3ビル501号室
		(74)代理人	110004392
			弁理士法人佐川国際特許商標事務所
		(72)考案者	大橋 茉莉花
			東京都世田谷区玉川三丁目20番2号
			マノア玉川第3ビル501号室 株式会
			社A l y o内

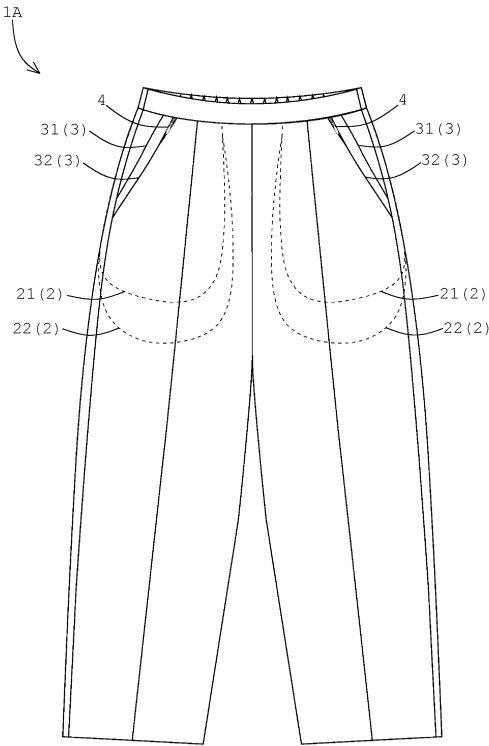
(54)【考案の名称】 衣服

(57)【要約】

【課題】 深さの異なる複数のポケットを簡単に使い分けることができ、大小様々な物を分け入れることができる衣服を提供する。

【解決手段】 衣服1Aは、左前身頃および右前身頃のうち少なくとも一方に、深さの異なる複数のポケット2が互いに独立し重ねた状態で設けられ、各ポケット2の開口部3も独立して設けられている。また、ポケット2のそれぞれは、衣服1Aのウエストから脇線にかけて斜めに形成された開口部3を備え、各開口部3は所定の間隔を隔てて並べて設けられている。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

左前身頃および右前身頃のうち少なくとも一方に、深さの異なる複数のポケットが互いに独立し重ねた状態で設けられ、各ポケットの開口部も独立して設けられている、衣服。

【請求項 2】

前記ポケットのそれぞれは、前記衣服のウエストから脇線にかけて斜めに形成された開口部を備え、各開口部は所定の間隔を隔てて並べて設けられている、請求項 1 に記載の衣服。

【請求項 3】

最も中心側に配置された前記開口部には、最も深いポケットが設けられているとともに、前記開口部を開閉するためのファスナーが設けられている、請求項 2 に記載の衣服。

10

【請求項 4】

前記ポケットは、小ポケットと、前記小ポケットより深い大ポケットとを有しており、前記大ポケットの深さは前記小ポケットの深さの 1.1 ～ 1.3 倍である、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の衣服。

【請求項 5】

前記小ポケットは、前記大ポケットと重ね合わせた状態で、前記大ポケットからはみ出さない形状に形成されている、請求項 4 に記載の衣服。

【請求項 6】

前記衣服がズボンの場合、ウエストの背面側にのみゴムが封入されたギャザー部を有している、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の衣服。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、深さの異なる複数のポケットを有する衣服に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、複数のポケットを備えた衣服が知られている。例えば、特開 2024-136764 号公報には、左右の両サイドにポケットを設けたズボンが図示されている（特許文献 1）。

30

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】 特開 2024-136764 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながら、特許文献 1 に記載されたズボンを含め、従来の衣服においては、左右の両サイドにおいて、同じ深さ（形状）のポケットが一つずつ設けられているものがほとんどである。このため、ポケットより大きな物は収容しにくく、ポケットより小さな物は取り出しにくいという問題がある。

40

【0005】

一方、深さが異なるポケットが設けられている衣服も存在するが、ポケットの内部に小さいコインポケットが付属して設けられていたり、あるいは各ポケットが前身頃やお尻側、脚の側面など、あちこちに離れた状態で配置されている。このため、前者の構成では、各ポケットおよびその開口部が独立しておらずわかりにくいため、使い分けが難しいという問題がある。また、後者の構成では、ポケットの位置に合わせて、手を様々な位置に移動させなければならず使いにくいという問題がある。

【0006】

本考案は、この問題点を解決するためになされたものであって、深さの異なる複数のポ

50

ケットを簡単に使い分けることができ、大小様々な物を分け入れることができる衣服を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本考案に係る衣服は、深さの異なる複数のポケットを簡単に使い分けることができ、大小様々な物を分け入れるという課題を解決するために、左前身頃および右前身頃のうち少なくとも一方に、深さの異なる複数のポケットが互いに独立し重ねた状態で設けられ、各ポケットの開口部も独立して設けられている。

【0008】

また、本考案の一態様として、各ポケットを使い分けし易くする上、デザイン的な美感を向上するという課題を解決するために、前記ポケットのそれぞれは、前記衣服のウエストから脇線にかけて斜めに形成された開口部を備え、各開口部は所定の間隔を隔てて並べて設けられていてもよい。

【0009】

さらに、本考案の一態様として、ポケットに入れた物を落ちにくくする上、着用者が座ったりした際に開口部が開くのを防止し、美感が損なわれるのを防止するという課題を解決するために、最も中心側に配置された前記開口部には、最も深いポケットが設けられているとともに、前記開口部を開閉するためのファスナーが設けられていてもよい。

【0010】

また、本考案の一態様として、物を取り出しやすい小ポケットと、大きめの物を収容可能な大ポケットとを適切なサイズで併存させるという課題を解決するために、前記ポケットは、小ポケットと、前記小ポケットより深い大ポケットとを有しており、前記大ポケットの深さは前記小ポケットの深さの1.1～1.3倍であってもよい。

【0011】

さらに、本考案の一態様として、衣服の内部においてポケットをまとまり易くするという課題を解決するために、前記小ポケットは、前記大ポケットと重ね合わせた状態で、前記大ポケットからはみ出さない形状に形成されていてもよい。

【0012】

また、本考案の一態様として、ズボンの各ポケットに多くの物を入れても外観上目立ちにくくし、美感の高いシルエットを保持するという課題を解決するために、前記衣服がズボンの場合、ウエストの背面側にのみゴムが封入されたギャザー部を有していてもよい。

【考案の効果】

【0013】

本考案によれば、深さの異なる複数のポケットを簡単に使い分けることができ、大小様々な物を分け入れることができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】本考案に係る衣服の第1実施形態を示す正面図である。

【図2】本第1実施形態の衣服を裏返した状態を示す正面裏面図である。

【図3】本第1実施形態の衣服を示す背面図である。

【図4】本考案に係る衣服の第2実施形態を示す正面図である。

【図5】本第2実施形態の衣服を裏返した状態を示す正面裏面図である。

【考案を実施するための形態】

【0015】

以下、本考案に係る衣服の第1実施形態について図面を用いて説明する。

【0016】

本第1実施形態の衣服1Aは、図1に示すように、ズボン1Aとして構成されており、左前身頃および右前身頃のそれぞれに、深さの異なるポケット2として、小ポケット21と、この小ポケット21よりも深い大ポケット22とを有している。これにより、小ポケット21は、スマートフォンや家の鍵等、すぐに取り出しやすい物を収容するポケット2

10

20

30

40

50

として機能する。一方、大ポケット 2 2 は、ペットボトルや長財布等、通常のポケット 2 には入らないような大きめの物を収容するポケット 2 として機能する。

【0017】

なお、左前身頃および右前身頃のそれぞれに設けられるポケット 2 の数は 2 つに限定されるものではなく、使い分けたい用途数や収容したい物の量等に応じて、深さの異なる複数のポケット 2 が設けられていてもよい。また、深さの異なる複数のポケット 2 は、左前身頃および右前身頃の双方に設ける必要はなく、少なくとも一方に設けられていてもよい。

【0018】

本第 1 実施形態において、小ポケット 2 1 および大ポケット 2 2 のそれぞれは、図 1 に示すように、ズボン 1 A のウエストから脇線にかけて斜めに形成された開口部 3 を備え、各開口部 3 は所定の間隔を隔てて略平行状態に並べて設けられている。そして、小ポケット 2 1 および大ポケット 2 2 のそれぞれは、互いに独立した状態で設けられており、図 2 に示すように、ズボン 1 A の裏面側で前後に重ねた状態で設けられている。

【0019】

また、本第 1 実施形態では、図 1 に示すように、左前身頃および右前身頃のそれぞれにおいて、各ポケット 2 の開口部 3 も独立して設けられている。具体的には、小ポケット 2 1 には、外側に配置された小ポケット用開口部 3 1 が設けられ、大ポケット 2 2 には、中心側に配置された開口部 3 である大ポケット用開口部 3 2 が設けられている。そして、大ポケット用開口部 3 2 にのみ、開口部 3 を開閉するためのファスナー 4 が設けられている。

【0020】

なお、深さの異なるポケット 2 が 3 つ以上ある場合でも、各ポケット 2 ごとに設けられた開口部 3 が所定の間隔を隔てて並べられる。これにより、各ポケット 2 の開口部 3 がそれぞれ独立した状態で規則的に並べられるため、使い分けし易く、デザイン的な美感も向上する。

【0021】

また、中心側に配置される開口部 3 ほど、相対的に開口幅（斜めの距離）が大きくなり、大きな物を出し入れし易いため、最も中心側に配置される開口部 3 には、最も深いポケット 2 が設けられる。そして、最も深いポケット 2 の開口部 3 にファスナー 4 を設けることにより、ポケット 2 に入れた物が落ちにくくなる。また、開口部 3 は一般的に開口幅が大きいほど、着用者が座ったりした際にパカッと開いて美感を損ない易いが、ファスナー 4 を閉めることで開口部 3 が開かなくなる。

【0022】

なお、本第 1 実施形態では、開口部 3 を開閉するファスナー 4 として、外観上目立ちにくいコンシール（登録商標）ファスナー 4 を採用しているが、これに限定されるものではなく、各種のファスナー 4 を採用してもよい。また、コンシール（登録商標）ファスナー 4 を開口部 3 に縫い付ける際は、衣服 1 A の生地が波打たないように、接着芯等を用いて生地に張りを持たせている。

【0023】

また、本第 1 実施形態では、物を取り出しやすい小ポケット 2 1 と、大きめの物を収容可能な大ポケット 2 2 とを適切なサイズで併存させるため、大ポケット 2 2 の深さは小ポケット 2 1 の深さの 1.2 倍程度に形成されている。ただし、深さの比率は、これに限定されるものではなく、大ポケット 2 2 の深さが小ポケット 2 1 の深さの 1.1 ~ 1.3 倍であることが好ましい。

【0024】

さらに、本第 1 実施形態では、図 1 および図 2 に示すように、小ポケット 2 1 は、大ポケット 2 2 と重ね合わせた状態で、大ポケット 2 2 からはみ出さない形状に形成されている。これにより、衣服の内部において各ポケット 2 がまとまり易くなるため、着用時や折り畳んで収納する際も邪魔にならない。

10

20

30

40

50

【0025】

また、本第1実施形態では、図3に示すように、ウエストの背面側にのみゴムが封入されたギャザー部5を有している。これにより、正面側のウエスト周りはスッキリとした外観を保持しつつ、背面側のヒップ周りにはゆったりと生地を使い、余裕を持たせられる。このため、ズボン1Aの各ポケット2に多くの物を入れても外観上目立ちにくく、シルエットが崩れにくくなる。

【0026】

また、本第1実施形態では、図2に示すように、ウエスト周りにウエスト調整ひも6が設けられている。このため、ウエスト調整ひも6をきつめに結ぶことにより、各ポケット2に重い物を入れてもズボン1Aが下がりにくくなる。

10

【0027】

つぎに、本第1実施形態の衣服1Aによる作用について説明する。

【0028】

本第1実施形態の衣服1Aは、左前身頃および右前身頃のそれぞれに、小ポケット21と大ポケット22とが設けられている。この構成により、小ポケット21は、スマートフォンや家の鍵等、取り出しやすい物を収容する一方、大ポケット22は、ペットボトルや長財布等、大きめの物を収容し、大小様々なものが分け入れられる。このため、近所に買い物に行く際などは、必要最低限の物をポケット2に入れて所持でき、かつ、バッグ等を持っていかなくても購入した物が入れられる。

【0029】

また、互いに独立して設けられた小ポケット21と大ポケット22は、小ポケット用開口部31と大ポケット用開口部32も互いに独立しているため、その存在を認識し易く、物を収容する際に使い分けし易い。さらに、小ポケット21と大ポケット22は、互いに重ねた状態で設けられているため、各ポケット2から物を出し入れする際も、常にほぼ同じ位置に手を移動させるだけでよい。

20

【0030】

また、所定の間隔を隔てて規則的に並べられた開口部3は、使い分けし易く、デザイン的にも美感を向上させる。さらに、大ポケット22は、最も中心側に配置され最も開口幅が大きい大ポケット用開口部32を備えるため、大きい物でも出し入れし易い。

【0031】

また、大ポケット用開口部32に設けられたファスナー4は、閉められることで大ポケット22に収容した物を落ちにくくする。その上、ファスナー4は、着用者が座ったりしても開口部3がパカッと開いてしまうことを防止し、美感を損なうことがない。

30

【0032】

さらに、大ポケット22の深さが、小ポケット21の深さの1.1～1.3倍であるため、物を取り出しやすい小ポケット21と、大きめの物を収容可能な大ポケット22とが、互いに適切なサイズで併存する。また、大ポケット22からはみ出さない形状の小ポケット21は、衣服の内部においてまとまり易くなり、着用時や折り畳んで収納する際も邪魔にならない。

【0033】

また、ギャザー部5が、ウエストの背面側にのみ設けられているため、正面側のウエスト周りはスッキリとした外観を呈する。一方、背面側のヒップ周りには生地をゆったりと使わせて、余裕を持たせられる。このため、ズボン1Aの各ポケット2に多くの物を入れても、ギャザー部5が伸びて生地を展開するため、外観上目立ちにくくし、美感の高いシルエットを保持する。

40

【0034】

さらに、ウエスト調整ひも6が、ズボン1Aのウエストサイズを任意に調整するため、各ポケット2に重い物を入れてもズボン1Aが下がりにくくなる。

【0035】

以上のような本第1実施形態の衣服1Aによれば、以下のような効果を奏する。

50

1. 深さの異なる複数のポケット 2 を簡単に使い分けることができ、大小様々な物を分け入れることができる。
2. 各ポケット 2 を使い分けし易くする上、デザイン的な美感を向上することができる。
3. ポケット 2 に入れた物を落ちにくくする上、着用者が座ったりした際に開口部 3 が開くのを防止し、美感が損なわれるのを防止することができる。
4. 物を取り出しやすい小ポケット 2 1 と、大きめの物を収容可能な大ポケット 2 2 とを適切なサイズで併存させることができる。
5. 小ポケット 2 1 を衣服の内部でまとまり易くし、着用時や折り畳んで収納する際のもたつきを防止することができる。
6. ズボン 1 A の各ポケット 2 に多くの物を入れても外観上目立ちにくくし、美感の高いシルエットを保持することができる。
7. ズボン 1 A の各ポケット 2 に重たい物を入れてもズボン 1 A を下がりにくくすることができる。

10

【0036】

つぎに、本考案に係る衣服の第 2 実施形態について図面を用いて説明する。なお、本第 2 実施形態の構成のうち、上述した第 1 実施形態と同一もしくは相当する構成については同一の符号を付し、再度の説明を省略する。

【0037】

本第 2 実施形態の衣服 1 B は、図 4 に示すように、ワンピース 1 B として構成されており、左前身頃および右前身頃のそれぞれに、小ポケット 2 1 と、大ポケット 2 2 とを有している。そして、小ポケット 2 1 および大ポケット 2 2 のそれぞれは、小ポケット用開口部 3 1 および大ポケット用開口部 3 2 とともに互いに独立されており、図 5 に示すように、ワンピース 1 B の裏面側で前後に重ねた状態で設けられている。

20

【0038】

また、本第 2 実施形態において、小ポケット 2 1 および大ポケット 2 2 のそれぞれは、図 4 に示すように、ワンピース 1 B のウエストから脇線にかけて斜めに形成された小ポケット用開口部 3 1 および大ポケット用開口部 3 2 を備え、各開口部 3 は所定の間隔を隔てて略平行状態に並べて設けられている。

【0039】

さらに、本第 2 実施形態では、図 4 に示すように、左前身頃および右前身頃のそれぞれにおいて、小ポケット 2 1 には、外側に配置された小ポケット用開口部 3 1 が設けられ、大ポケット 2 2 には、中心側に配置された開口部 3 である大ポケット用開口部 3 2 が設けられている。そして、大ポケット用開口部 3 2 にのみ、ファスナー 4 が設けられている。

30

【0040】

以上のような本 2 実施形態の衣服 1 B によれば、ワンピース 1 B においても、第 1 実施形態と同様の作用効果を奏する。

【0041】

なお、本考案に係る衣服は、前述した実施形態に限定されるものではなく、適宜変更することができる。

【0042】

例えば、上述した各実施形態では、衣服として、ズボン 1 A およびワンピース 1 B に適用した例について説明したが、これらに限定されるものではなく、スカートやコート等に適用することもできる。

40

【0043】

また、上述した各実施形態では、図 2 および図 5 に示すように、大ポケット 2 2 を前面側に配置し、小ポケット 2 1 を背面側に配置して前後に重ねているが、この構成に限定されるものではなく、小ポケット 2 1 を前面側に配置し、大ポケット 2 2 を背面側に配置して重ねてもよい。

【符号の説明】

【0044】

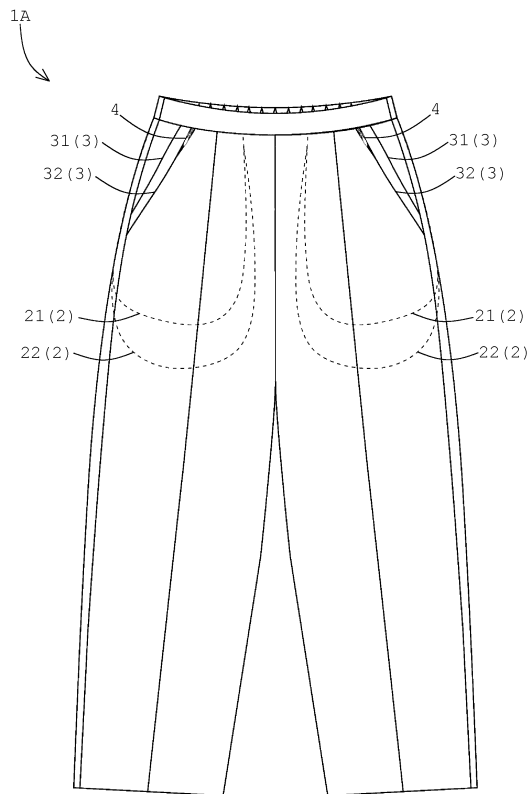
50

- 1 A 衣服（第 1 実施形態：ズボン）
- 1 B 衣服（第 2 実施形態：ワンピース）
- 2 ポケット
- 2 1 小ポケット
- 2 2 大ポケット
- 3 開口部
- 3 1 小ポケット用開口部
- 3 2 大ポケット用開口部
- 4 ファスナー
- 5 ギャザー部
- 6 ウエスト調整ひも

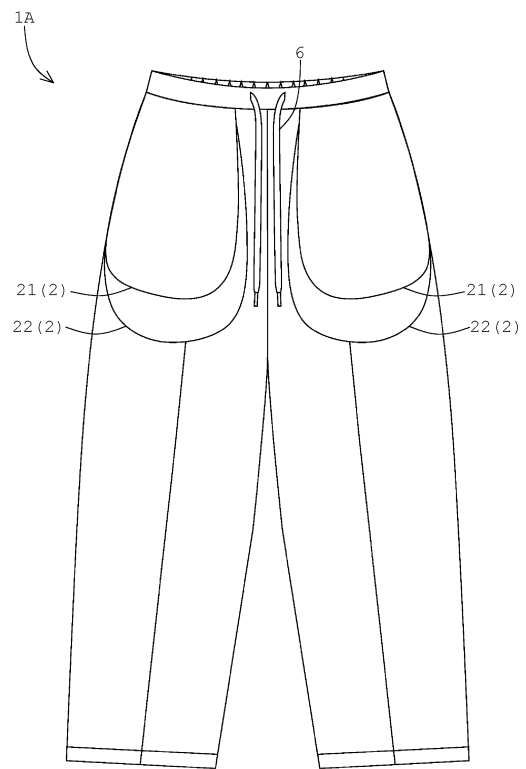
10

【図面】

【図 1】



【図 2】



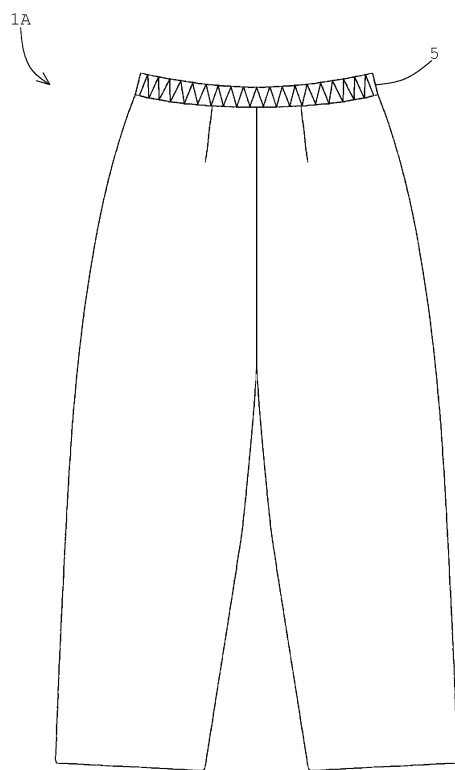
20

30

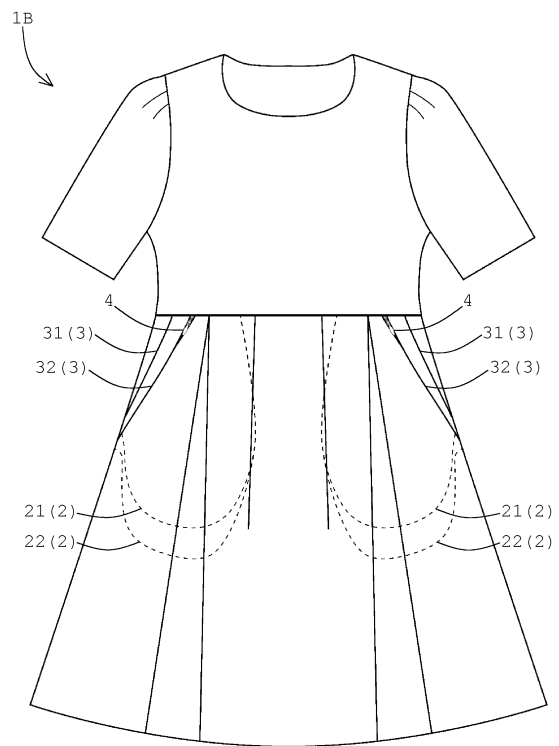
40

50

【図 3】



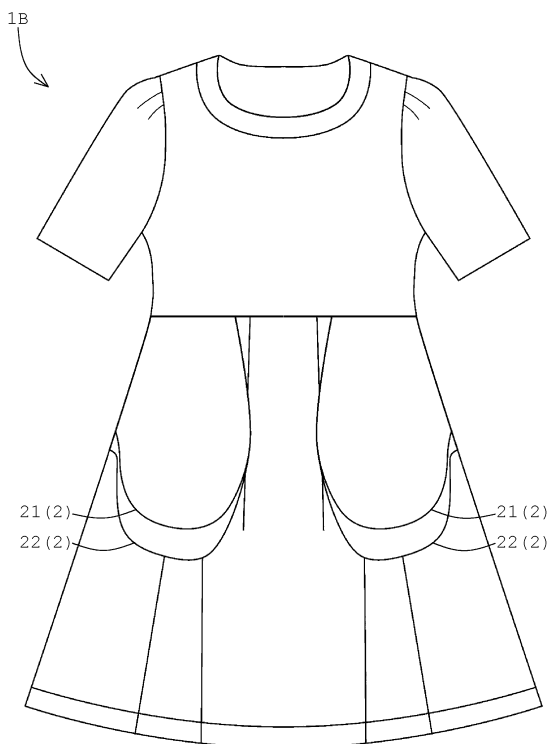
【図 4】



10

20

【図 5】



30

40

50